

各 位



株式会社 SBI 新生銀行

【サステナブルインパクト】Nuveen Real Estate が関係する特定目的会社への ソーシャルファイナンス 2 件の実行について

当行は、Nuveen Real Estate(米国ニューヨーク、Chief Executive Officer: Mike Sales、以下「NRE」)が関係する特定目的会社 2 社へ、高齢者施設等を裏付けとした不動産信託受益権取得を資金用途とするソーシャルファイナンスを実行しました。

NRE は、米国教職員退職年金/保険組合(TIAA: Teachers Insurance and Annuity Association of America)傘下の運用部門として商業用不動産、住宅用不動産、インフラ、農地・森林等に投資を行っている世界有数の不動産投資運用会社です。NRE は責任ある投資家として、投資を通じ、世界に対して永続的なインパクトを与えることを投資哲学としています。また、同社はサステナビリティをビジネス戦略の中心に位置づけた「Tomorrow's world strategy」を策定し、2040 年までにグローバルでのポートフォリオネットゼロを達成することを含み環境・社会インパクトの追求も掲げてビジネスを推進しています。同戦略のもと、日本では、高齢者向け住宅を中心に投資する 1.5 億米ドルのファンド「Japan Alternatives Living Fund」の展開により、良質な高齢者向け住宅の供給に貢献しています。

当行は本件のような社会課題への対処または軽減を目指してポジティブな社会的インパクトをもたらす取り組みに対し、資金調達面から積極的にサポートしてまいります。

<SBI 新生銀行サステナブルインパクト評価室によるソーシャルローン評価の概要>

借入人	特定目的会社①	特定目的会社②
資金用途	以下の高齢者施設等を裏付けとした信託受益権取得	
	介護付き有料老人ホーム(東京都大田区)	介護付き有料老人ホーム(東京都杉並区) 住宅型有料老人ホーム、障がい者グループホーム(千葉県松戸市) 住宅型有料老人ホーム(埼玉県川越市)
本件の社会的意義	「高齢者が安心して日々の生活を送る住まいの確保」 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 入居者の観点: 「高齢者が、施設入居をすることによる生活の質の向上」 ➢ 入居者の家族の観点: 「介護離職の減少」、「女性の社会参加の促進」 	
本件がもたらす社会的インパクトと社会的課題との整合性	SDGs では主に「目標 3: すべての人に健康と福祉を」、「目標 5: ジェンダー平等を実現しよう」、「目標 8: 働きがいも経済成長も」に貢献すると評価した。 日本政府・自治体の高齢者のための住まいの供給、介護離職予防と防止、女性の社会参加促進の方針とも整合する。	
本ファイナンスに関するその他の評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象施設では、テナントとして近隣の認可保育園の移転・入居を予定しており、乳幼児とその保護者へのポジティブなインパクト(女性活躍・男女共同参画の推進やワークライフバランスの実現等)の維持への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県松戸市の住宅型有料老人ホームに併設予定の障がい者グループホームへ、入居する障がい者やその家族へのポジティブなインパクト(自分らしい生活を送ることができる住まいの確保、女性活躍・男女共同参画の推進やワークライフバランスの実現等)創出への期待 ・ 一部の対象施設における太陽光パネルの設置による環境配慮への取り組みの検討

※ 本ソーシャルローンは、特定の社会課題への対処やその軽減に資する事業や、社会的インパクトをもたらす事業に資金
用途を限定したローンです。新生ソーシャルファイナンス・フレームワークについては、下記 URL をご参照ください。
https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/green/

以 上

お問い合わせ先
SBI新生銀行サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp